

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ]

2019 12

特別版

『BizLifeStyle』は東京、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島にて55.4万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2019 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



『ひとつ上の自分』を目指そう。

ITの利活用頻度とともに活躍舞台が増えるエンジニア。だが、その分、要求も高度に。

ITへの依存を高め続ける現代社会。日常生活における活用場面も多様化するばかりだが、それ以上に変化が激しいのがビジネスシーンだ。AIを筆頭にクラウドサービスとビッグデータ、IoTとエッジコンピューティング、フィンテック、HRテック、RPA…。新しいトレンドワードが生まれては対象業界の仕事の現場に持ち込まれ続けている現状は、システムエンジニアの目的は、自己のキャリアが洋々と開けているように映ることだろう。

だが、日進月歩のITは、それこそ「ITを活用して」進化を加速させている。前記のような新しい波に乗り遅れないよう学ぶだけでも大変なのに、担当するビジネス分野に対する高度な専門知識も同時に問われるのだから、対応は容易ではない。いまや業種を問わず人材ニーズが生じているITエンジニアだが、活躍舞台が広がる分、より高度な人材であることが求められるわけだ。

広大な活躍フィールドと本気で育てる人材サポート、一挙両得の職場として。

企業は確実に人材ニーズを抱えている。では、どうやって自分のスキルを磨き、彼らに貢献して、より充実した将来へとアクセスするのか。そこで注目したいのが、

全国24か所に拠点を有し、3500名を超えるシステムエンジニアが在籍するソフトウェアの総合アウトソーシングカンパニー「テクノプロ・IT社」だ。

同社は、約2万人にも及ぶ人材を抱えるという国内最大級の独立系技術サービス企業「テクノプロ」傘下のIT技術者集団だ。通信や金融をはじめ自動車製造メーカーから医療分野まで、多種多様な業種から舞い込む要望や相談に即応し、単体で200億円超の売上を誇る。その信頼の背景にあるのが、強力な人材育成力だ。技術研修事業を手がけるグループ会社が全国55校以上を展開中の「Winスクール」を軸に、課題別・階層別・職能別それぞれの専門研修などを実施。ITトレンドに追従する最前線のシステムエンジニアとしての自己鍛錬を支援しつつ、各分野で「専門用語での会話が可能」なレベルの業界知識の取得を促す環境を整えているのだから、大志を抱くエンジニアには何とも心強い。

右肩上がりのIT需要と旺盛な人材ニーズを支えられ、業績も堅調に推移するテクノプロ・IT社。現在の人材市場の動向を受け、ここに来て新卒採用、キャリア採用の両面から人材募集を強化することにしたという。そこで今回は、同社のオフィスを訪ね取材。自分自身の将来ビジョンを広げようと希望を膨らませるスタッフたちに話をうかがった。

My Favorite Life Style



千葉支店勤務
グループリーダー
宮原 涼さん
2015年4月 中途入社



金沢支店勤務
六反田 真由子さん
2015年4月 新卒入社

「未来への翼」を大きく広げる、テクノプロ・IT社の社員たち。

「さらに上流の工程にいる自分」を目指したかった。転職を成功させた宮原涼さんの場合。

キャリア

— 宮原さんは、以前にお勤めだった職場もIT会社ですよね。転職することになったきっかけは？

— 同業他社について少し調べた機会があったのですが、テクノプロ・IT社とは全く案件量が豊富だと気付いたんです。この会社のエンジニアはいろいろな業界の仕事を経験できるんだろなあと羨ましく思ってたんです。上場企業であるという点も安心材料でしたね。

— 具体的にはどのような仕事を希望だったのでしょうか。

— 当時は主に開発の上流工程で仕事をしていたのですが、プロジェクト全体を動かす立場になりたいと考えていました。お客様と対峙してディスカッションから担当するかな。

— 現在のお仕事は？

— 金融大手のIT部署を支援



— 開発ベンダーに仕事を伝えるために、システムを使う方々の改善要望などを取りまとめています。

— 発注側の立ち位置ですから、想定以上の上流となりますね。実際に仕事に就いていかがですか？

— 開発担当としてプロダクトに組み込んでいた頃と比べると、「1人で話す」この重要性を痛感しています。コミュニケーション能力が成長を分ける仕事という感覚でしようか。

— 確かに、開発実務とはまったく異なるスキルが必要となりそうですよね。

— そうなんです。研修内容も大きく変化して、効果的な面談法や、会議に必要なファシリテーションなどを学んでいます。

— 現在のお仕事ではどんな部分に充実感を覚えますか？



転職を検討中の皆さんへ。宮原さんからの肉声メッセージ

テクノプロ・IT社は全国に展開している企業ですので、業種的にも、規模的にも、案件がとても豊富です。たとえ、具体的に「この業界で働きたい」という希望をお持ちのITエンジニアの方なら、マッチングが実現する可能性は、かなり高いと言えるのではないのでしょうか。自分自身がそうだったのですが、仕事に取り組んでいるうちに「もっとスキルを高めたい」と感じた経験はあります。そんな個人的なビジョンに応えてくれるグループ独自のスクールがあるのも、この規模の企業ならではの魅力だと思います。いつでも勉強を始められる、再開できるという安心感は、目の前の業務へのモチベーションにもつながりますよ。

日々知識が付き、技術が上がる自分を実感。文系学部出身の六反田真由子さんの場合。

新卒

— 六反田さんは、IT系を目指していたわけではなかったそうですね。

— そうなんです。当初は事務職を希望していました。大学の授業で体験したプログラミングが想像以上に楽しく、「技術で勝負する道もいいな」と感じたのがきっかけです。

— でも、他にも会社はたくさんあります。テクノプロ・IT社を選んだ理由は何ですか？

— IT系の企業を調べて、テクノプロ・IT社が突出しているような業務に携われることを知ったんです。この会社の裾野の広さであれば、自分に適した分野が見つかるかも、という思い、応募しました。

— 晴れて入社されたわけですが当初の仕事は？

— 入社研修後に配属されたのは金融系のプロジェクトです。融資を管理するシステムの開発現場でした。

— 授業の楽しさは別次元の壁もあったのでは？

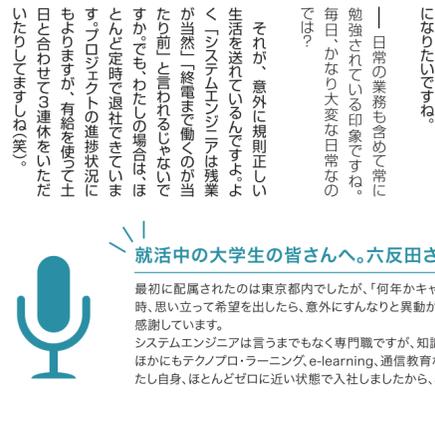
— いえ、疑問があったら遠慮なく先輩方に質問して、その場で解決したので(笑)。もちろん勉強不足を痛感しましたが、「Winスクール」も活用しながら体当たりで取り組みました。

— そんな六反田さんが自分の仕事に自信を持てるようになったのは、いつ頃のことでしたか？

— しばらくプログラミングに集中していたのですが、あるプロジェクトでより上流にあたる詳細設計を任せられることになったんです。それまでの仕事ぶりを認められた気がして、少し自信が湧いた気がします。

— 仕事でやりがいを感じるシーンはありますか？

— もちろんあります。たとえば、お客様が抱えている課題に対して、きちんとした解決策を



— 普段の業務も含めて常に勉強されている印象ですね。毎日、かなり大変な日常なのでは？

— それが、意外に規則正しい生活を送れているんですよ。よく「システムエンジニアは残業が当然」ってイメージで働くの当たり前」と言われるじゃないですか。でも、わたりの場合は、ほとんど定時で退社できています。プロジェクトの進捗状況にもよりますが、有給を使ったり日を含めて3連休をいただいたりしています(笑)。

— 自分で詳細を詰めた案件を反映したシステムが無事にリリースされた時ですね。特に、挑戦したかったことが組み込まれたシステムは、やはり思い入れも大きいと思います。

— では、今後の課題と考えるものは？

「コミュニケーション面以外では、やはりITスキルアップです。最新の知識を常にアップデートして、情報収集、情報交換は怠らないように気をつけています。

— 常に気を張っておられるような印象ですが、お休みはきちんと取れていますか？

「働き方改革」の影響もあるのですが、かなり理想に近い就業スタイルです。ランチは毎日同じ時間に取り、休日は16時45分定時に、遅くとも18時前後には帰ります。休日もきちんと取れるだけでなく、福利厚生として遊園地や水族館などの割引を受けられるのも嬉しいですね。最初は感動しました(笑)。

就活中の大学生の皆さんへ。六反田さんからの肉声メッセージ

最初に配属されたのは東京都内でしたが、「何年かキャリアを重ねたら、地元金沢に戻りたいな」とずっと思っていたんです。ある時、思い立って希望を出したら、意外にすんなりと異動が決定しまして。いま思うに、「全国に拠点があるからこそ可能だったんだ」と感謝しています。システムエンジニアは言うまでもなく専門職ですが、知識やスキルの面で不安がある方はWinスクールを活用するとよいと思います。ほかにもテクノプロ・ラーニング、e-learning、通信教育などの研修制度がありますので、安心してキャリアアップに臨めるはずです。わたし自身、ほとんどゼロに近い状態で入社しましたから、みなさんも大丈夫ですよ。



Biz Life Style Pick up >>>

数字を見れば一目瞭然、テクノプロ・IT社の「魅力」について

実際に在籍しているスタッフたちが口を揃える「働きやすさ」と「居心地のよさ」。肉声の次は、さまざまな数字の面からテクノプロ・IT社の魅力を検証してみよう。



エンジニアの在籍数にご注目。プロフェッショナル集団の名に相応しい人数であると同時に、刺激を与え合える仲間の数だと思うと、かなりのワクワク感が。



週休2日で、夏季や年末年始をカレンダーの通りに休んだとすると、年間休日は120日前後になる計算。働き方改革の時代、当然のこと。



エンジニアの世界では、圧倒的多数が男性陣。それを考えると2割でも「女性が多い」と言えます。



あれこれ検索してみると、上場企業の平均年齢は概ね40歳強との説が有力か。現場でバリバリ活躍するエンジニアの像を考えると、「少し若め」で納得。



こちらはさらに諸説あり。調査によって結果にはバラつきがあるものの、「20時間に満たない」のは、エンジニア職ではかなり短い部類に入ること。



キャリアに関する不安や悩みに対し、個別の面談を通じて解決をサポートしてくれる心強い味方。困ったら、ぜひ相談を。



日本ではなかなか進まないという報道も多い育児・介護時の休暇取得。その中でこの数字は、ほとんど先進事例と呼べるレベルなのでは。



社内研修制度の強さは、テクノプログループの最大の特徴のひとつ。カリキュラムは何と200以上と、まるで教育機関のような充実ぶり。



北海道から鹿児島まで全国規模で展開中。拠点の多さもさることながら、「受講費全額会社負担」などのサポート内容が自慢。詳細はWEBで。



スキルアップに直結するだけでなく、実利面からもモチベーションを刺激。これだけ手厚い制度があるなら、難関突破にも挑戦したいところ。



専門的な世界に没頭しやすいエンジニアという仕事。そこで、同好の士が集まれる社内サークルも積極的に活動を促し、活発な交流を推奨。



技術者不足で「エンジニアは売り手市場」と言われる現在でも、この定着率の高さ。会社としての居心地をよさを雄弁に物語る数字。



ビジネスアプリケーション開発、ネットワーク・データベース、組込ソフト、保守・運用ソフトウェア…。
自分の思いを実現するために働ける総合アウトソーシングカンパニーがキャリア採用／新卒採用のエントリーを受付中。
まずは下記にアクセスの上、企業情報の確認から！

テクノプロ・IT社

www.technopro.com/it/

テクノプロ・IT社 Company Profile

商号	株式会社テクノプロ
カンパニー名	テクノプロ・IT社
英文表記	TechnoPro, Inc. TechnoPro IT Company
設立	1995年8月
本社	〒106-6135 東京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワー35階 TEL.03-5410-1014
事業内容	ビジネスアプリケーション、運用、クラウド技術における技術開発分野や商品開発分野への技術サービス
社長	代表取締役 浅井功一郎
従業員数	3,697名 (2019年6月末現在)
売上高	213億円 (2019年6月期)
拠点	本社、24拠点 (2019年6月現在)

札幌支店 北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ14F
仙台支店 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン13F
広島支店 広島県広島市南区福荷町5-18 三共福荷町ビル5F
福岡支店 福岡県福岡市博多区博多駅南1-10-4 第二博多倍成ビル5F